

2022

# 10枚のセルフィーで見るイタリア

未来に挑む、ユーザーフレンドリーな経済

制作

# SYMBOLA

Fondazione per le qualità italiane

---

提供



Ministero degli Affari Esteri  
e della Cooperazione Internazionale



MINISTERO DELLA  
TRANSIZIONE ECOLOGICA

---

協力



UNIONCAMERE



ASSOCAMERESTERO  
ASSOCIAZIONE DELLE CAMERE DI  
COMMERCIO ITALIANE ALL'ESTERO

---

次の皆さんのおかげです：

ANFAO, Blumine, Coldiretti, Confindustria Ceramica, Enel, Fabbrica Intelligente, Fantoni, FederlegnoArredo, Gruppo Saviola, Intesa Sanpaolo, Qualivita そして UCIMU

---

『10枚のセルフイーで見るイタリア』の今年の表紙で用いた色は、青みがかった色調に紫と赤が混じった「ベリー・ペリー (Very Peri)」です。この色は、パントン色彩研究所が2022年のためにゼロから作り上げたものです。その生き生きとしたスピリットは、パンデミック後の未来に希望を与えるメッセージを伝えることを目的としています。

「私たちの経済は、その背後にある安定した連帯のネットワーク、つまり合法性という背景、幅広い知識と市民的なコミットメントを持つ、社会的義務を自覚した企業のシステムがあることによって、より強くなれます。」

セルジオ・マッタレラ (Sergio Mattarella) - イタリア共和国大統領

「全体とその部分とは、現世に生きる人々を不幸な状態から取り除き、幸福な状態へと導くことを目的としています。」

ダンテ・アリギエーリ (Dante Alighieri)

気候危機、パンデミック、壊滅的な紛争、不平等などは、時としてユーザーフレンドリーではない未来を予見しているように見えます。方向性を変えるために、さまざまな国や地域、企業、そして一人ひとりが、自分自身の才能を発揮し、それを共有することが求められているのです。これはイタリアにも当てはまります。

我が国は、古来の染色体やアイデンティティと、完全にイタリア的な経済のやり方とを融合させることにより、最高の力を発揮します。それは、革新と伝統、社会的な結束、新たなテクノロジーと美、自国の領土や地域社会との接触を失うことなく世界と対話する能力、生産的な柔軟性と競争力とを融合させるということです。

毎年、イタリアでは、あまり知られていない、または過小評価されがちな側面を、広角レンズを通した10枚のセルフイー写真で表現しています。それらは、品質と持続力に対する企業のインセンティブが原動力となっています。備忘録や日記になりうるような語り口：私達はここから、過去の苦しみだけでなく、未来とその課題に対しても、立ち向かっていくことができるのです。気候危機やパンデミックへの対応、結束力の融合、グリーンとデジタルへの移行など、欧州が「次世代EU」として掲げるミッションの一環として、それを実現できるようになるのです。そのためには、弱体化した世界であっても協調と平和の道を切り開いていく必要があります。より安全で、より文化的で、より優しい世界を、誰一人置き去りにすることなく、また誰一人孤立させることなく、共に築いていくこと。

イタリアを作るのはイタリアです。Symbolaが調査し、記述する国は、私たちと共通のビジョンと使命を持ち、好奇心と共感をもって私たちの国を観察する旅仲間の会社で完成しました。

**エルメーテ・リアラッチ**  
**(ERMETE REALACCI)**

Symbola財団会長

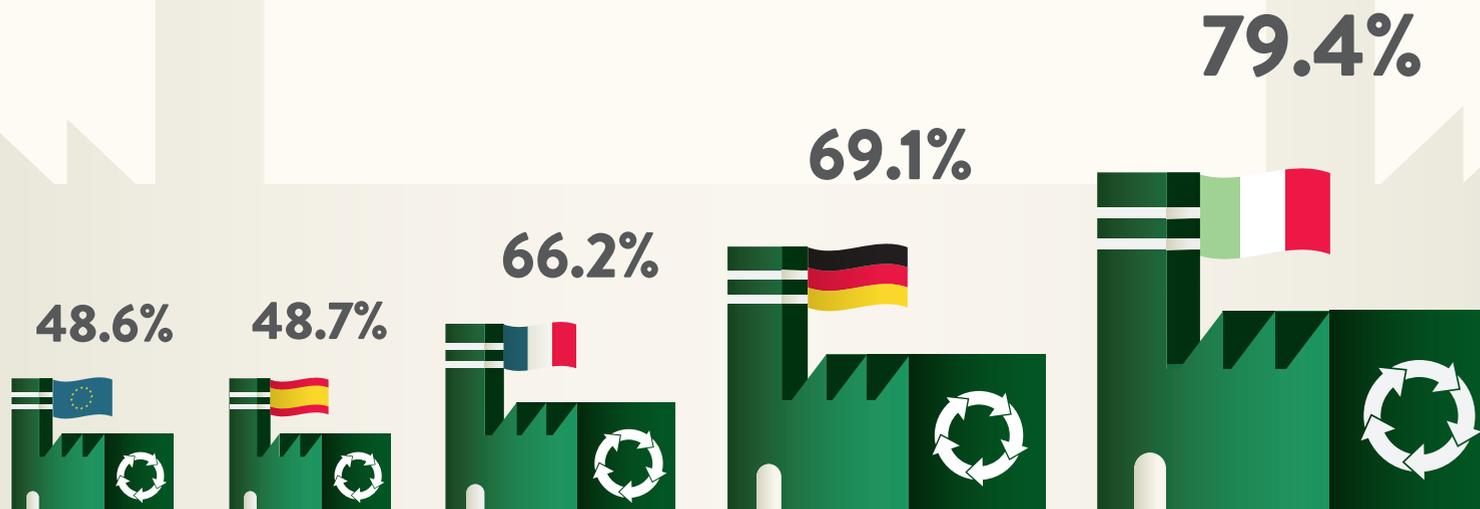
# 2022

## 10枚のセルフィーで見るイタリア

未来に挑む、ユーザーフレンドリーな経済

---

01. 循環型経済のリーダー
  02. グリーン問題と品質の競争における効率化のチャンピオン
  03. 世界最大の再生エネルギー事業者はイタリア
  04. ユネスコ・サイトとデザインにおける世界的リーダー
  05. イタリアは宇宙技術の専門性で世界第3位  
そして地球観測における欧州のリーダー
  06. 地域密着型農業で1位のイタリア
  07. イタリアのメカニック輸出は、欧州2位、世界で4位  
工作機械
  08. イタリア製タイル、輸出額世界一
  09. イタリア：持続可能性を追求する木製家具業界のグローバルリーダー
  10. アイウェア：イタリアが世界輸出のトップ
-



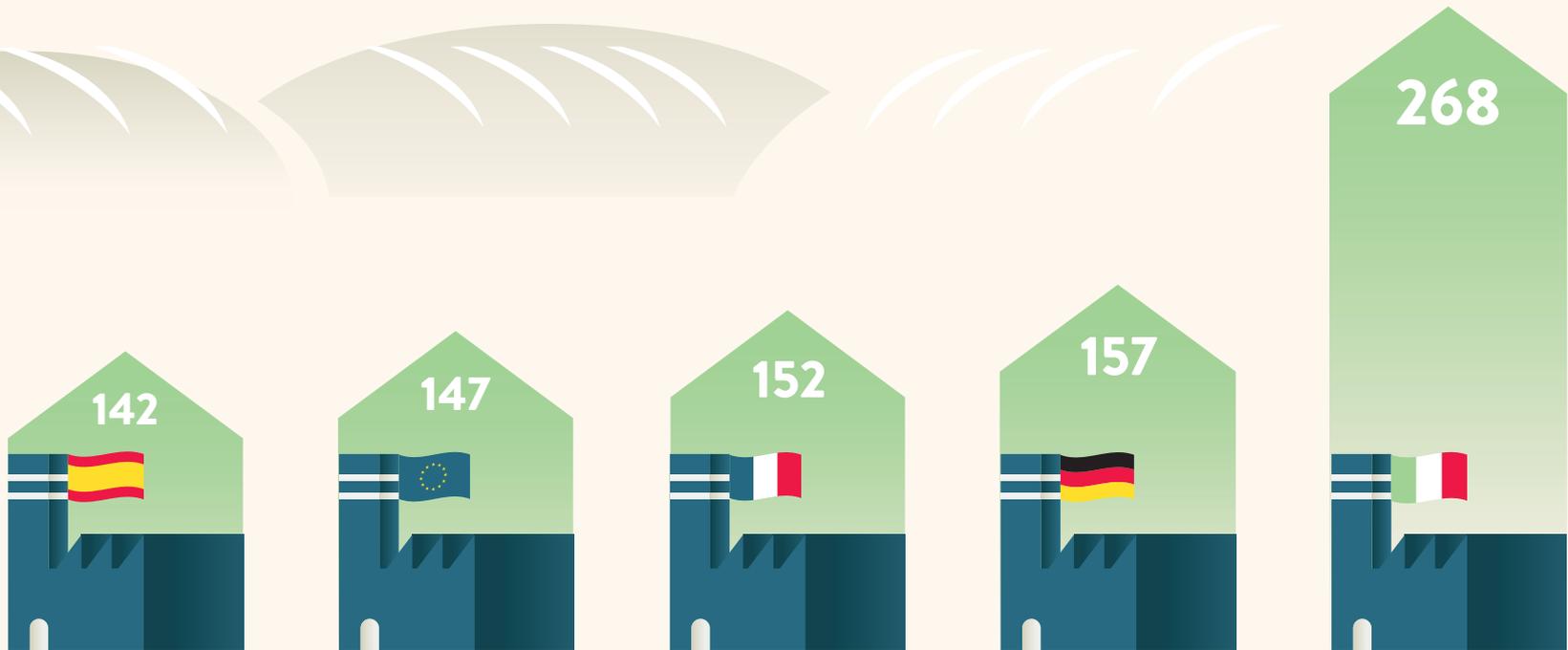
## 循環型経済のリーダー

欧州において、イタリアはどの国よりも多く、特殊ゴミと都市ゴミの総量の79.4%をリサイクルしており、これは欧州平均(48.6%)、ドイツ(69.1%)、フランス(66.2%)、スペイン(48.7%)を上回っています。その結果、年間2300万トン相当のガソリンと、6300万トン相当のCO<sub>2</sub>の削減に繋がります。国レベルでリサイクルされたものと同様に、輸入された、あるいは内部的にリサイクルされた二次原料が貢献したおかげで、イタリアの製造業は、約50%の循環率(再生二次原料と一次および二次原料の合計使用量との比率)を達成しています。

01.

欧州主要国におけるゴミ(都市ゴミおよび特殊ゴミ)総量に対するリサイクル率、最新データである2018年のもの(単位:%)

SYMBOLA財団 10枚のセルフイーで見るイタリア2022  
出典 | グリーンイタリア2021、Symbola財団およびウニオンカメレ(Unioncamere)



## グリーン問題における効率化のチャンピオン そして品質

300点満点中268点を獲得し、イタリアは資源の利用効率指標で欧州をリードしています。原材料・水・エネルギー使用時の生産性、および温室効果ガス (GHG) 排出原単位などを考慮した指標。欧州平均 (147ポイント)、ドイツ (157)、フランス (152)、スペイン (142) を上回ります。<sup>1</sup>イタリアは2008年から2019年の間に、生産と同等の原材料の使用を-44.1%削減、対するEU平均は-33%。グリーン投資と連動した成果：イタリアの製造業企業の3分の1が、直近の過去5年間にエコ投資を行いました。平均して、これらの企業は売上高、輸出高を拡大し、雇用を増やしています。<sup>2</sup>

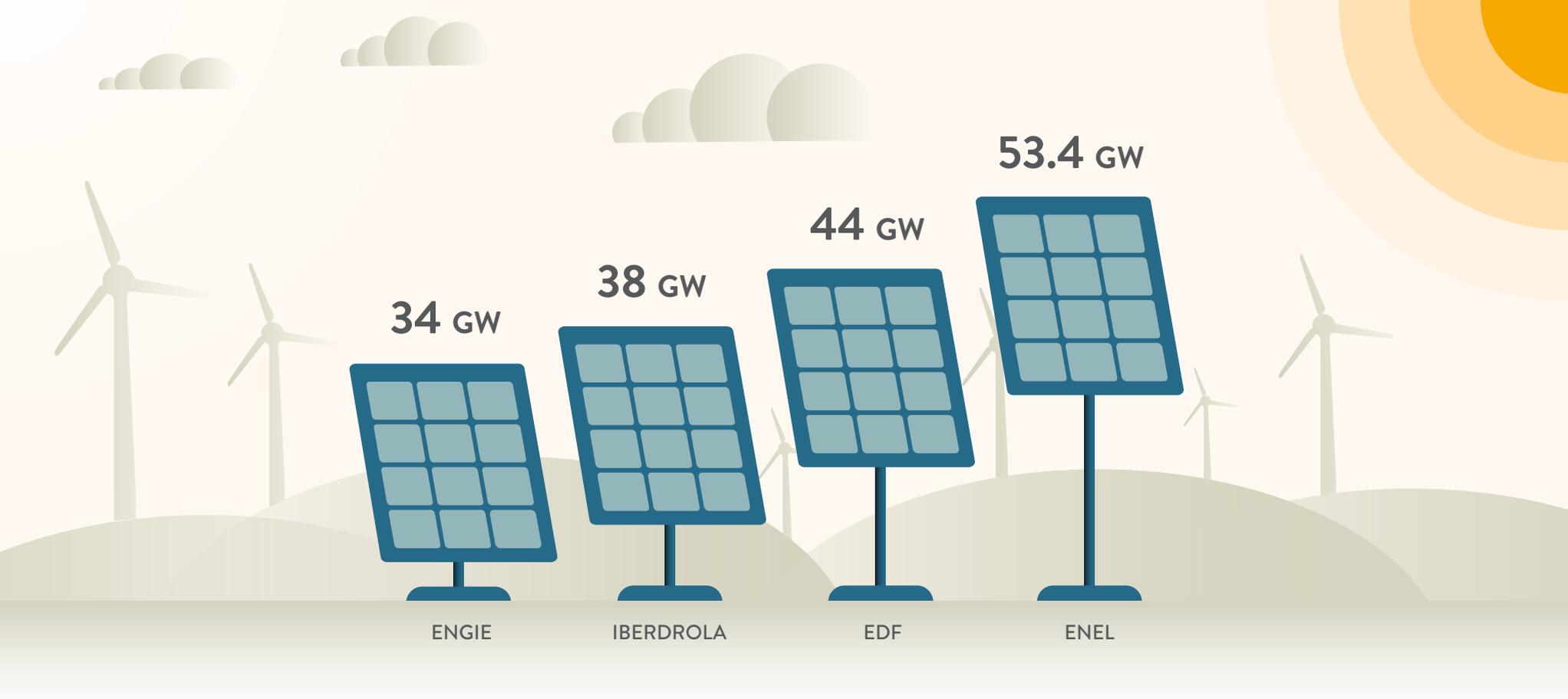
## 02.

欧州主要国の資源使用に関する効率性スコアは、次の資料によるとエコ・イノベーション指標 2021年 (絶対値)

SYMBOLA財団 10枚のセルフィーで見るイタリア2022

出典 | <sup>1</sup>欧州委員会;

<sup>2</sup>グリーンイタリア2021、Symbola財団およびユニオンカメレ (Unioncamere)

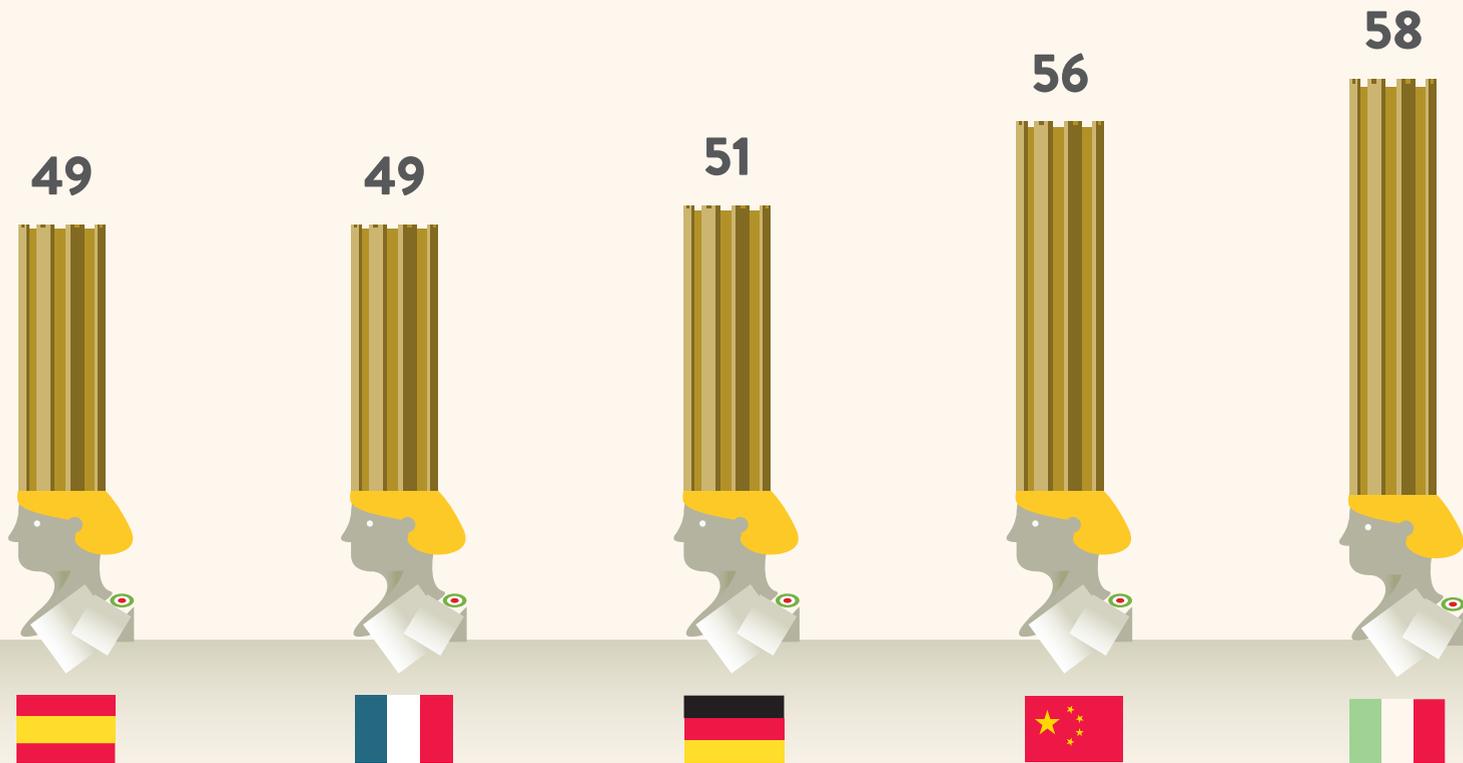


## 世界最大の再生エネルギー事業者はイタリア

Enelは、その子会社Green Powerにより、欧州、アメリカ、アフリカ、アジア、オセアニアにある風力、太陽光、地熱、水力発電所から、2021年には53.4ギガワットの管理能力を持つ、再生可能エネルギー分野で世界最大の民間事業者です。このイタリア企業は、EdF社（総容量44ギガワット）、Iberdrola社（保有容量38ギガワット）、Engie社（総容量34ギガワット）といった業界をリードする他の企業より上位に位置しています。2021年12月31日現在、Enelの時価総額は716億に達しています。Enel社のサステナビリティについての絶え間ないコミットメントは、Dow Jonesサステナビリティ・ワールドインデックスやMSCIワールドESGリーダーズなどの、最も重要かつ厳しいESGインデックスで確認されているように、トップESG評価におけるリーダーの1つとして位置づけられていることから明らかにされています。

03.

2021年管理容量（ギガワットレベル）

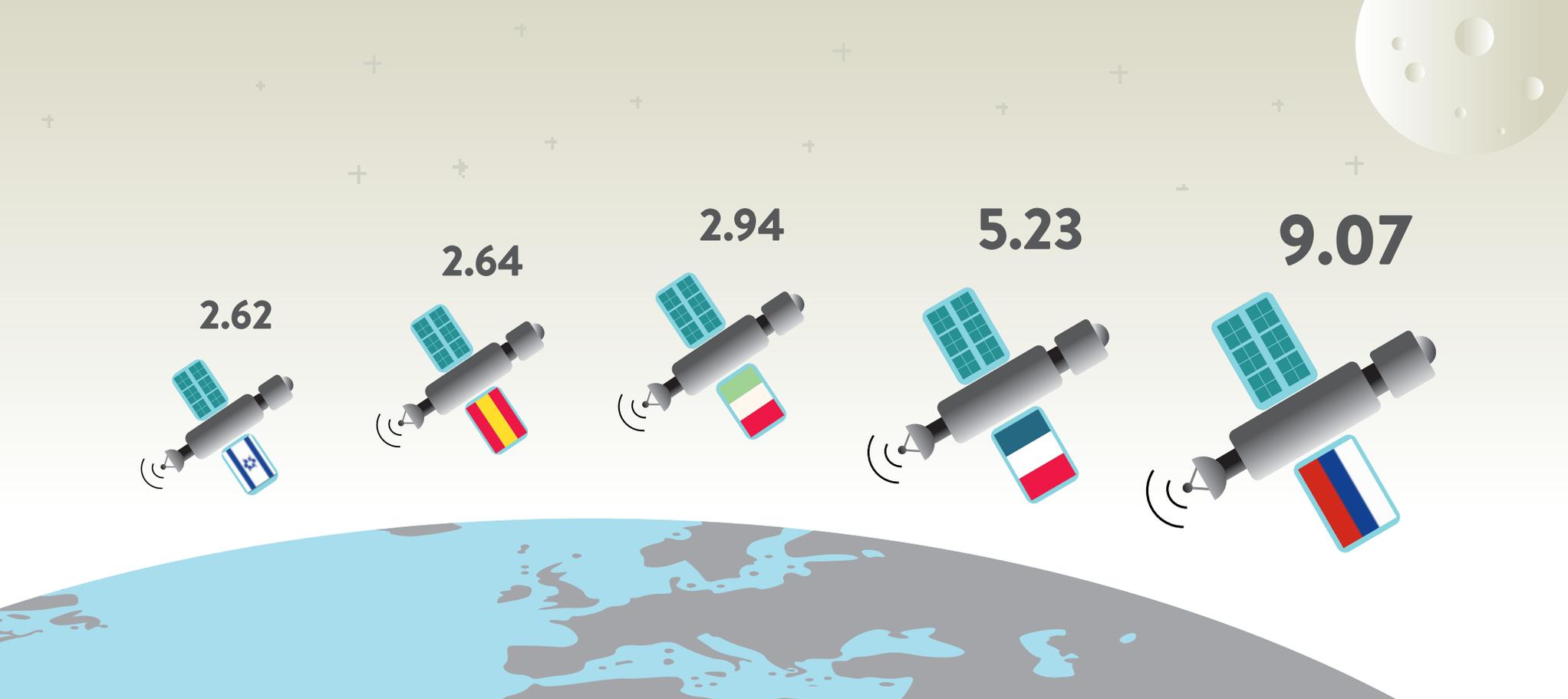


## ユネスコ・サイト とデザインにおける世界的リーダー

我が国は、世界遺産登録件数で第1位を誇ります。現在、世界167カ国でユネスコが認定している1154件のうち、イタリアは58、次いで中国(56)、ドイツ(51)、フランスおよびスペイン(共に49)です。<sup>1</sup>これは、イタリアが誇る「美」へのこだわりと相まっての記録です。イタリアには欧州で最も多くのデザイン企業が存在し、業界のリーダー的存在であることを裏付けています。<sup>2</sup>2021年、イギリスの雑誌Timeoutは、パリのルーブル美術館やニューヨークのMOMAを抑えて、フィレンツェのウフィツィ美術館を世界最高の美術館にノミネートしました。

## 04.

ユネスコが世界遺産に認定した遺跡数、2021年(絶対値)



## イタリアは宇宙技術の専門性で世界第3位、地球観測では欧州のリーダー的存在

イタリアは、宇宙技術への特化度（特許全体に対する宇宙産業関連の特許数）では、ロシア、フランスに次ぎ、スペイン、イスラエルを抜いて世界第3位、一方絶対値では4.1%で、米国、フランス、日本、中国に次ぐ第5位である。<sup>1</sup>また、我が国は宇宙機（衛星を含む）と発射台の輸出額で第4位となっており、2019年は1億3000万ドル（2021年は1億7700万ドル）である。イタリアに先行しているのは、フランス（9億8500万ドル）、米国（6億4100万ドル）、ドイツ（5億6500万ドル）である。<sup>2</sup>ASI COSMO-SkyMedプログラムのおかげで、イタリアは世界初の地球衛星観測システムを構築しており、気候変動の影響の測定、天然資源運営の監視、沿岸侵食や汚染を含む自然および人為的リスクの制御などに活用が可能である。<sup>3</sup>

# 05.

RTA（記述優位性）指標による、宇宙技術に最も特化している国々

SYMBOLA財団 10枚のセルフイーで見るイタリア2022

出典| <sup>1</sup>OECDのデータにIntesa Sanpaoloのデータ処理を施したもの；

<sup>2</sup>国連コムトレードのデータにSymbola財団のデータ処理を施したもの；

<sup>3</sup> ASI - Agenzia Spaziale Italiana



## 地域密着型食料農業でイタリアは1位

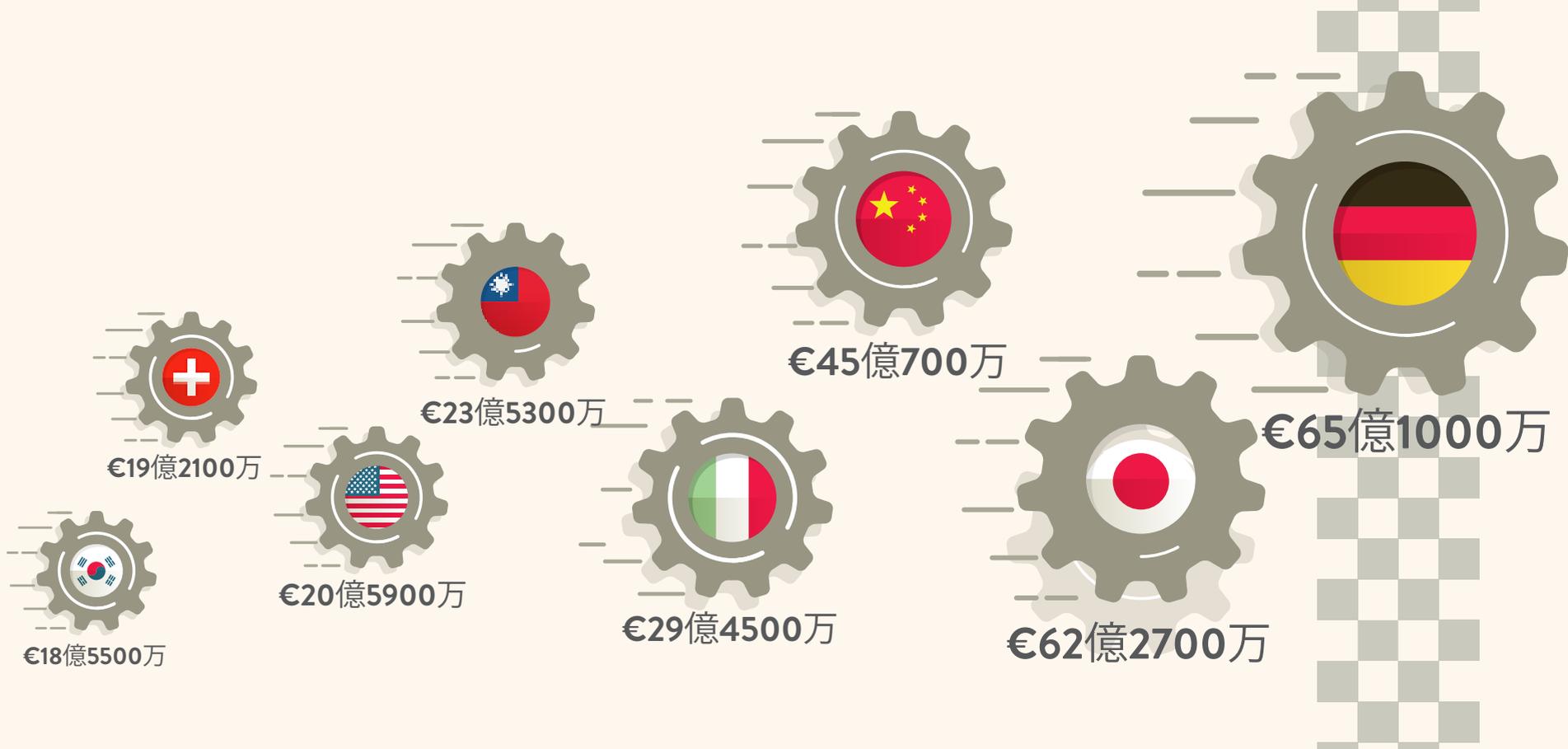
イタリアには842の分類があり、記録され保護されている食品農産物およびワイン栽培製品についてはヨーロッパで第1位を占めています：581 DOP, 257 IGP、および4 STG。これに次ぐのがフランス（696）、スペイン（344）、ギリシャ（260）、ポルトガル（182）です。<sup>1</sup>DOPおよびIGP製品は、イタリアの食品農業産業における輸出の21%に寄与しており、<sup>2</sup>2021年には輸出額で520億近く（11%増）の歴史的な記録を達成しました。<sup>3</sup>サステナビリティに更に関与し続ける品質：2011年から2019年の間に、イタリアの農業では植物検疫用製品の使用量が32%減少し、ヨーロッパで最も持続可能なものであることが確認されています。イタリアの産業が排出するCO<sub>2</sub>は3000万トン相当であり、フランス（7600万トン）、ドイツ（6600万トン）、スペイン（3900万トン）よりも好ましいと言えます。<sup>4</sup>

# 06.

EUで記録された農産物、食品、ワインの地理的表示（DOP, IGP）およびSTGの数、2022年（絶対値）

SYMBOLA財団 10枚のセルフイーで見るイタリア2022

出典<sup>1</sup> Symbola財団およびQualivita財団がeAmbrosiaのデータに基づく；<sup>2</sup>Ismea-QualivitaのデータをQualivitaデータ処理したもの；<sup>3</sup>statデータ<sup>4</sup> グリーンイタリア2021, Symbola財団およびユニオンカメレ



## イタリアのメカニクスは、工作機械の輸出で欧州2位、世界で4位

金属加工用工作機械の輸出額で世界第4位：29億4500万ユーロで、イタリアの輸出額は同産業の世界層輸出額の8.2%に相当（2020年比12.2%増）。イタリアは、ドイツ（65億1000万ユーロ）、日本（62億2700万ユーロ）、中国（45億700万ユーロ）の後塵を拝しています。ここ数年、イタリアの売上高に占める海外市場の割合は平均55～60%となっています。<sup>1</sup>

2016年から2020年の間にグリーン投資を行った機械・運輸産業の企業は1万5854社あり、業界の40.1%に相当します。<sup>2</sup>

## 07.

金属加工用工作機械の主な輸出先国の輸出額  
2021年（単位：百万ユーロ）

SYMBOLA財団 10枚のセルフイーで見るイタリア2021

出典 | <sup>1</sup> UCIMUリサーチセンターによる各国協会データ、ガードナー出版、ITC；

<sup>2</sup> グリーンイタリア2021、Symbola財団およびウニオンカメレ

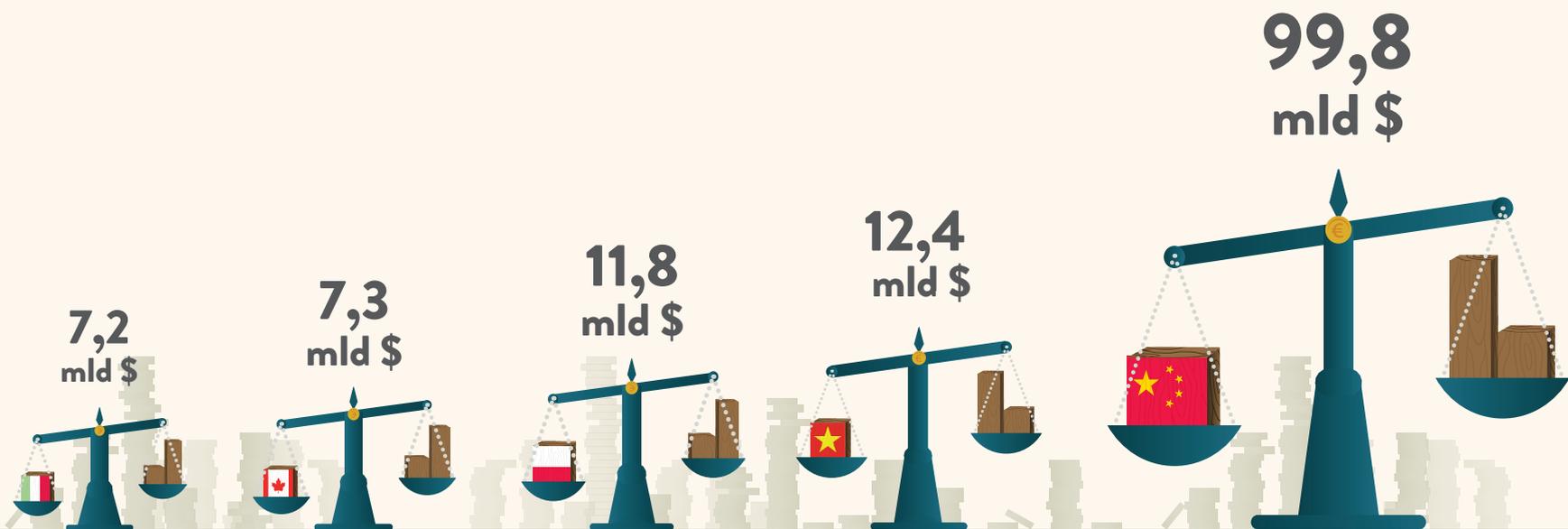


## イタリア製タイル、輸出額世界一

イタリアは、セラミックタイルの輸出額で世界第1位(52億4000万ユーロ)、次いで中国(34億7000万ユーロ)、スペイン(29億ユーロ)、インド(13億ユーロ)、トルコ(7億3100万ユーロ)で、輸出額全体の31%を占めています。2020年には3億9100万m<sup>2</sup>のセラミックタイルを販売し、これは面積にしてパリの3倍に相当するもので、イタリア貿易収支に占めるシェアは7%に達しました。この結果は、水と原材料の節約という観点において最も効率的な業界の1つであるという、当該業界の環境へのコミットメントともつながっています。技術開発により、生産サイクル全体で、生産時に発生する排水やスクラップは100%再利用されています。その結果、イタリアのセラミックは、イタリアのみならず世界的に見ても、循環型経済の最も進んだ例のひとつとなっています。

08.

セラミックタイルの主要輸出国の輸出額  
2020年(億ユーロ単位で表示)



## イタリア:持続可能性を追求する木製家具業界のグローバルリーダー

イタリアは72億ドル(2021年には80億ドル)で、木製家具の貿易収支黒字で世界第5位を保持しており、上位には中国(998億ドル)、ベトナム(124億ドル)、ポーランド(118億ドル)、カナダ(73億ドル)があります。輸出においては、ドイツ、ポーランドに次ぐ欧州第3位で、146億ドルを記録しています。結果は、国産品の品質とサステナビリティに結びついています。イタリアは、屋内用家具において605件のFSC森林認証を受けており、ポーランド、ドイツに次いで欧州でトップクラスの地位を占めています。<sup>2</sup>さらに、イタリアのチップボードパネルの93%が100%リサイクル木材で生産されており、<sup>3</sup>60%の企業が再生可能エネルギーから再資源化を行っています。<sup>4</sup>

09.

木製家具産業における主要国の貿易収支  
2020年(億ドル単位で表示)

SYMBOLA財団 10枚のセルフイーで見るイタリア2022  
出典 | <sup>1</sup>国連コムトレードデータに基づき Federlegno  
Arredoリサーチセンターが処理;<sup>2</sup>FSCイタリア;<sup>3</sup>  
10枚のセルフイーで見るイタリア2021、Symbola財  
団;<sup>4</sup>Symbola財団-FederlegnoArredo 調査、2021年



## アイウェア:イタリアが世界輸出のトップ

イタリアは、眼鏡産業の輸出額 (39億3000万ユーロ) で、中国 (44億1000万ユーロ) に次ぐ世界第2位です。<sup>1</sup>輸出が90%超を占めるその生産量は、2021年には2019年比で+4.5%の伸びを記録しました。イタリアは、ハイエンドレベルのサングラスやフレームの輸出と生産で世界一であり、その市場シェアは70%を超えています。このリーダー的地位は、1万8000人の雇用者を擁する848社が作り出す品質に基づいています。<sup>2</sup>

10.

サングラスとフレームの主要輸出国の輸出額  
2021年 (億ユーロ単位で表示)



本研究で得られたデータおよび情報の複製、一部または全部の配布は、出典を完全に引用した場合にのみ許可されます：SYMBOLA財団、  
10枚のセルフィーで見るイタリア 2022

グラフィック・プロジェクト：Marimo | ブランドライフ・デザイナー

ISBN 978-88-99265-700

## SYMBOLA – イタリア品質のための財団

Symbolaとは、古代ギリシャ語で「まとめる」という意味で、品質に焦点を当てた発展モデル、伝統、地域、技術や研究のイノベーションなどを取り込んだソフトエコノミー、競争力と人的資本への感謝、経済発展、環境と人権の尊重を組み合わせ、さらに推進するために作られました。開発モデルは、グリーン経済、文化や創造性の果たす役割、社会的な結束、循環型経済に基づいてサステナビリティを目指すものです。Symbola – イタリア品質のための財団 - とは、経済界、企業家、地域社会、制度、文化、パフォーマンスといった各界の著名人を結びつけていく文化的な運動です。Symbolaは、社会、経済、制度、政治について、綿密な分析と調査を行っています。出版されたすべてのレポート - グリーンイタリアの主要なもののうち、Cultura, Coesione è Competizione, and I.T.A.L.I.A.などがあります。新しいMade in Italyのレイアウトは、ウェブサイトから参照・ダウンロードが可能です。

[www.symbola.net](http://www.symbola.net) | [info@symbola.net](mailto:info@symbola.net) | 06 45430941



FSC認証再生紙を使用